

宮本委員長殿 御久し振ります。野鳥の会の船瀬です。

11月4日 淀川河川事務所主催の 塔の島地区整備計画説明会に参加し、野鳥の会ネット
で報告しました。中村様より宮本委員長に報告する様に依頼され御報告致します。

今回の説明会は淀川河川事務所が1500t計画に伴う塔の島地区の工事計画の説明とそれを受けて参加者の質問、意見を受けるという内容でした。参加者はこれまでの説明会と違い宇治市議会面々をはじめ宇治市関係者が多く、(やっと大変な事と考え始めたようです) 今までより内容の深い物でした。今回は以前の計画に修正があり、会場の雰囲気は1500t計画に反対が大勢で国交省に不信感を抱くものでした。

この地域は文化財、観光資源、自然、住民の憩いの場等とても大切な地域であり、それらのどれ一つ失われても計画を遂行出来ません。

ボトルネックという言葉をご存じですか。野鳥の好きな仲間の世界では秋東南アジアに渡るサシバというタカが9月から10月日本列島を東に飛んで琵琶湖に阻まれ南下し宇治川近くの山岳部に集結します。それを鳥好きの人間が多く集まり観察します。

塔の島地域は地理的、治水、文化財、内水面漁業、鵜飼、自然と住民感情等問題が多く、琵琶湖－淀川治水事業の最大のボトルネックかもしれません。

その様な問題点一つ一つのを十分検証しての説明会と思えませんでした。当日、自然への配慮の説明もナカセコカワニナのみでありましたが、鳥類魚類等もっと多くの自然への検証が必要です。少なくとも昨年の国交省の依頼で野鳥の会が実施した鳥類調査の結果を生かす様御要望致します。

長文に成り済みません。